

## みんなの言葉は生きている

校長 嶋見 靖之



庭には山茶花が咲いています。冬の到来を感じる12月になりました。2学期を締めくくる月です。

先月9日（月）フリーアナウンサーの伊勢みずほさんをお迎えして、児童会総務委員会による「いじめ見逃しゼロスクール集会」を行いました。各学級から「なかよし宣言」の取組の発表があり、その後伊勢さんから講演をいただきました。

冒頭、伊勢さんは子どもたちに将来の夢を尋ねました。何人もの子どもが自ら手を上げて発表しました。人前で夢を語るのは恥ずかしく感じることでしょう。伊勢さんが優しく温かく言葉を発するのを待ってくれたから、子どもたちは発表できたのだと思いました。

その後、ご自身が闘病経験で気付いたこととして、「言葉で声に出して発信することが周りの人の力を借りることにつながり、夢に近づく力となったり、つらいことや不安なことを乗り越える力になったりする」とお話がありました。そして「大人になることは一人で解決できることではなく、心の中のことを言葉で表現して周りの力を借りること」、「相談されたら全力で助けてほしい、力になってほしい」というメッセージをいただきました。これらのメッセージは、子どもたちの勇気につながると感じました。

私は、子どもたちに向けた伊勢さんのメッセージがそのまま大人にもあてはまると思いました。聴いてくれる大人がいてこそ、つまり信頼できる大人がいてこそ子どもたちは勇気を出すことができる。前述の「相談されたら全力で助けてほしい、力になってほしい」の言葉はそのまま大人にも言えることと思いました。ご家族、地域の方々、そして学校職員、全ての大人が全ての子どもの応援隊であること。それが子どもたちの勇気につながると思います。

これからも子どもたちと素敵な大人の方との出会いをつくっていきたいと考えています。そして子どもたちが豊かな言葉をたくさんもてるようにしていきたいと考えています。

